



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

かわさき健幸福寿プロジェクト

要介護度等改善・維持評価事業について



令和8年1月

川崎市健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

事業概要



「したい」「やりたい」をあきらめない！

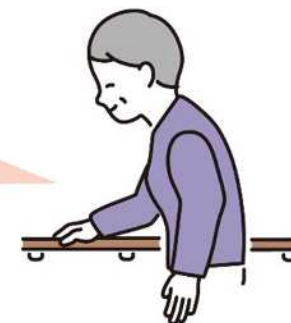
現在の介護保険制度では、適切なケアによって要介護度が改善した場合、事業所が受け取る報酬が少なくなります。

高齢者の自立支援に向けた質の高いケアを評価する仕組みの構築を目指して、平成26年度から取組を開始しました。

介護が必要になっても、**「こんな生活を送りたい」という目標を持って、介護サービス事業所と一緒に、その達成に向け、要介護状態の「改善」や「維持」を目指す**ことを目的としています。



ひとりで
トイレに行きたい！



■ 対象者の要件

**要介護1～5の認定を受けている方で
川崎市の介護保険被保険者証をお持ちのすべての方**

※直近の要介護認定時と比較してプロジェクト参加申請時点の心身状況に著しい改善がみられる方や給付制限等の対象になっている方は、参加できません。

■ 参加資格（事業所）

市内に所在する
全ての指定介護保険事業所

- ★在宅の場合は、ケアに関わる事業所でチームを結成して参加してください。
- ★施設等の場合は、施設内の多職種で連携して参加してください。



■ 取組期間

7月から翌年6月までの1年を1サイクルとして事業を実施

■ 評価指標

要介護度	期間開始の7月1日と比べて、 期間終了の6月30日時点で <u>改善</u> した場合 改善に至らなかった場合であって、 同一の要介護度を <u>一定期間を超えて維持</u> した場合
ADL	期間開始の7月1日時点と比べて、 期間終了の6月30日時点で <u>改善</u> した場合

※市が所有する介護認定のデータを用いて、評価を実施します。
事業所において、報告書等の作成・提出の作業はありません。

【参考】ADL等の変化を測るための指標

	調査項目	1ポイント	2ポイント	3ポイント	4ポイント	5ポイント
1	寝返り	つかまらないでできる	何かにつかまればできる	できない		
2	起き上がり	つかまらないでできる	何かにつかまればできる	できない		
3	座位保持	できる	自分の手で支えればできる	支えてもらえればできる	できない	
4	両足での立位保持	支えなしでできる	何か支えがあればできる	できない		
5	歩行	つかまらないでできる	何かにつかまればできる	できない		
6	立ち上がり	つかまらないでできる	何かにつかまればできる	できない		
7	片足での立位	つかまらないでできる	何かにつかまればできる	できない		
8	視力	普通（日常生活に支障がない）	約1m離れた視力確認表の図が見える	目の前に置いた視力確認表の図が見える	ほとんど見えない	見えているのか判断不能
9	聴力	普通	普通の声がやっと聞きとれる	かなり大きな声なら何とか聴きとれる	ほとんど聞こえない	聞こえているのか判断不能
10	えん下	できる	見守り等	できない		
11	意思の伝達	対象者が意思を他者に伝達できる	ときどき伝達できる	ほとんど伝達できない	できない	
12	毎日の日課を理解	できる	できない			
13	生年月日や年齢を言う	できる	できない			
14	短期記憶	できる	できない			
15	自分の名前を言う	できる	できない			
16	今の季節を理解する	できる	できない			
17	場所の理解	できる	できない			
18	日常の意思決定	できる（特別な場合でもできる）	特別な場合を除いてできる	日常的に困難	できない	

参加事業所

- ◆ 報奨金 5万円
(「要介護度の改善」又は「ADL等の一定以上の改善」があった場合)
- ◆ 市が主催するイベントにおける市長表彰
- ◆ 成果を上げたことを示す認証シールの交付
- ◆ 市の公式ウェブサイト等への掲載
- ◆ 事例検討会等における公表や事例集への掲載 など



参加利用者

- ◆ 市が主催するイベントにおける市長表彰
- ◆ キーホルダーや参加の証（あかし）カードの交付（全員）
- ◆ 記念品
(「要介護度の改善」又は「ADL等の一定以上の改善」があった場合)



市長表彰の様子



どうやって参加するの？

1

参加の確認

ご利用者様・ご家族様

参加の意思をケアマネジャーや
利用中の事業所のスタッフの方
にお示ください。

プロジェクトに
参加してみたいな！



事業所様

ご利用者様にお声かけいただき、
目標や参加の意思を
確認してください。

〇〇さんの想いを
叶えたい！



2

事業所でチームを結成



在宅の場合

ケアに関わる市内事業所で
チームを結成して参加してください。

施設などの場合

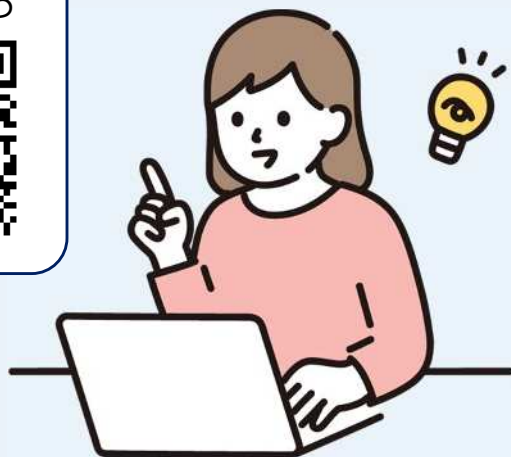
ケアに関わる多職種で
連携して参加してください。

申込方法は？その後は何をするの？

3

参加の申請

詳細はこちら



事業所の方が申込をしてください。

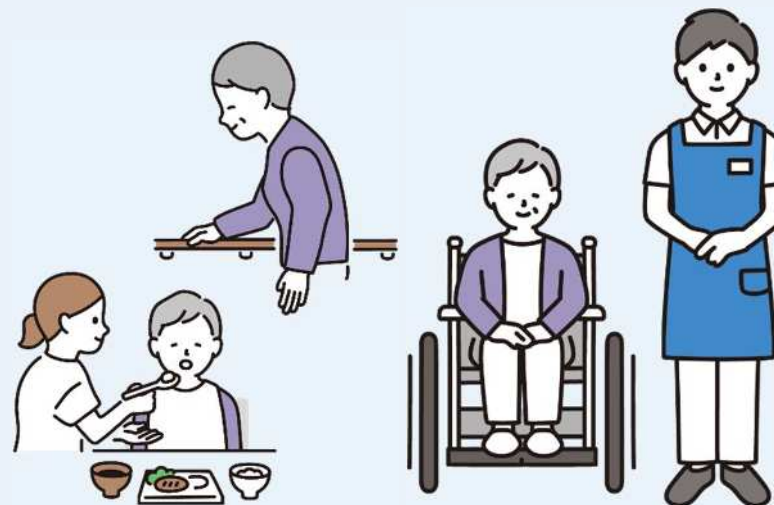
在宅の場合は、
チーム内で代表の事業所を決めて、
申込をしてください。

※居宅介護支援事業所以外からの申込も可能です。

4

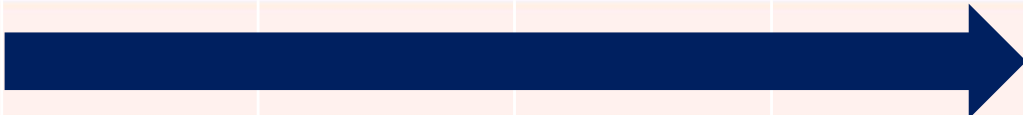







サービスの提供

プロジェクトの取組期間は
7月から翌年6月まで



利用者の希望を踏まえて、
要介護状態の改善・維持に向け、
サービスを提供してください。

第10期事業スケジュール

	令和7年			令和8年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
事業期間						
参加受付						
結果集計・評価						
アンケート調査						
講習会等	 説明会	 事例検討会		 事例発表会		 表彰式

表彰式について

第10期プロジェクト終了後、8月～9月頃に皆様の取組を発表し、その成果を讃えるため、川崎市長による表彰式を開催する予定です。

説明会・事例検討会・事例発表会等

プロジェクト参加事業所の皆様に事業の説明会や、有意義な研修会や講習会等を行う予定です。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

取組事例





「杖無しであるけるようになりたい！」

要介護
4

令和3年9月 脳出血で入院

令和4年1月 自宅に戻る
通所リハの利用開始

令和5年6月 機能訓練型通所介護の利用開始

令和5年7月 第8期プロジェクト参加

要介護
2

令和6年6月 外出の練習を開始
通所リハで階段昇降のメニューを追加



第8期「金賞」

「ひとりでトイレに行きたい！」



要介護
4

令和5年2月 腰椎圧迫骨折 車いす移動に
3月 通所介護を利用
4月 歩行等動作の評価を実施
車いす足こぎでの移動を勧められる
6月 訪問リハビリ開始

8月 第8期プロジェクト参加

10月 車いすでの足こぎが安定し
ひとりでトイレに行けるように

要介護
2

令和6年4月 職員の見守りのもと、歩行練習を継続
第8期「金賞」





「周りの役に立ちたい！」

要介護
5

令和2年6月 特別養護老人ホーム入所

令和4年7月 コロナの影響で活動量が落ちる

令和5年5月 認知症による不安症状を抱え、
時折物盗られ妄想が見られる
不安症状の緩和につなげるため
軽作業の手伝いを願う

12月 第8期プロジェクト参加

理学療法士による機能訓練に加え、
自主的な歩行訓練を行うように

要介護
3

令和6年9月 ベッドから車いすへの移乗動作が安定
第8期「金賞」



「カツ丼が食べたい！」



後日、風間トオルさんが
訪問された際には、
一緒にカツ丼をいただきました



「2024 風間トオルさんと
参加チームの“目標達成”座
談会動画」を御覧ください。

要介護
5

要介護
3



令和4年1月 重症肺炎で入院
胃ろう造設
退院したら「カツ丼を食べたい」と希望

令和4年7月 退院し、サービス利用開始
第8期プロジェクト参加

令和4年9月 嚥下内視鏡検査実施。嚥下が悪く、
嚥下力向上のための助言をもらう

令和5年1月 嚥下が改善傾向になるも、
病状が悪化し入院
退院後、訓練により歩行が安定する

第8期「金賞」

令和5年11月 嚥下内視鏡検査を実施
ついにカツ丼を食べる



Colors, Future!

いろいろって、未来。

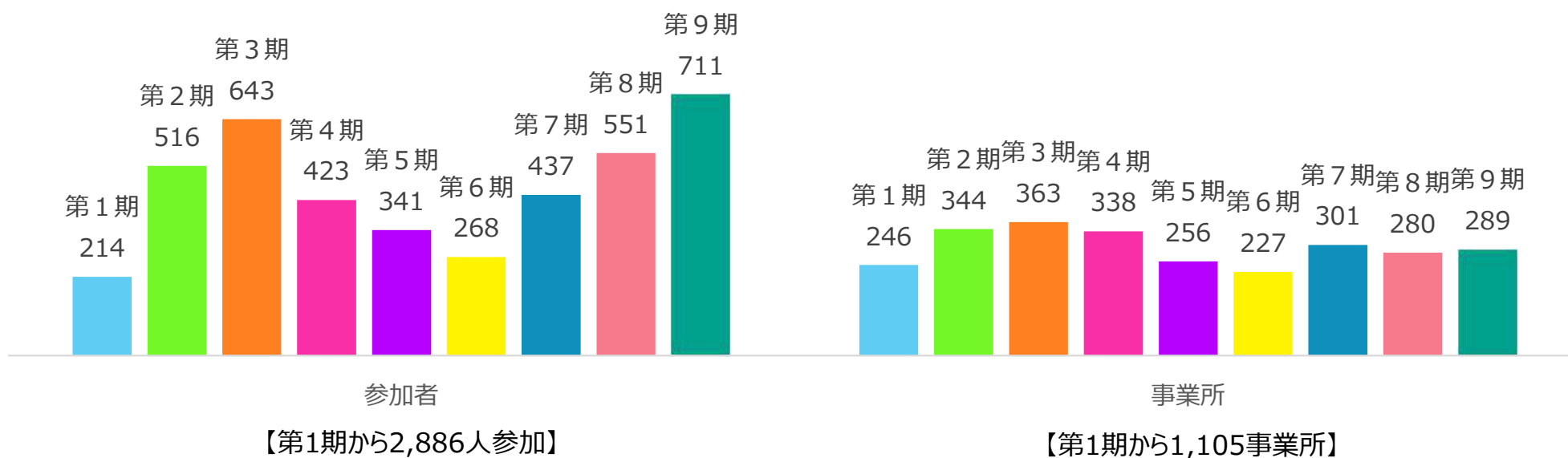
川崎市

取組結果



第9期参加者数 : 711名
第9期参加事業所数 : 289事業所
(のべ1,115事業所)

参加者数・参加事業所数の推移



実施状況について②

	No.	サービス種別	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	指定数	割合
在宅系	1	居宅介護支援	54	55	60	59	45	42	45	42	41	317	13%
	2	訪問介護	25	40	46	49	36	32	30	33	40	361	11%
	3	訪問看護	12	25	19	21	24	23	21	27	25	476	5%
	4	訪問リハビリテーション	3	2	3	5	7	4	5	2	2	176	1%
	5	訪問入浴介護	4	0	3	3	2	2	2	1	3	16	19%
	6	居宅療養管理指導	5	12	5	8	4	15	22	31	35	1,801	2%
	7	通所介護	29	40	41	48	31	23	31	35	29	143	20%
	8	通所リハビリテーション	11	14	19	18	10	11	10	10	11	37	30%
	9	短期入所生活介護	11	9	10	5	5	2	5	6	6	83	7%
	10	短期入所療養介護	2	1	3	2	1	1	0	1	1	21	5%
	11	福祉用具貸与	15	20	22	22	19	21	22	22	22	54	41%
	12	夜間対応型訪問介護	1	3	3	2	2	2	1	1	1	7	14%
	13	地域密着型通所介護	16	25	33	25	16	21	19	13	21	173	12%
	14	認知症対応型通所介護	9	4	3	1	4	1	6	5	4	50	8%
	15	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	4	2	2	0	1	1	3	3	30	10%
	16	特定施設入居者生活介護（短期入所）	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-	-
施設・居住系	17	小規模多機能型居宅介護	3	6	14	11	6	1	11	2	1	46	2%
	18	看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	3	0	0	1	0	0	23	0%
	19	認知症対応型共同生活介護	14	16	32	31	17	13	37	20	16	136	11%
	20	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	3	2	0	0	0	0	2	2	2	8	25%
	21	特定施設入居者生活介護	10	34	19	12	13	6	15	12	13	116	11%
	22	介護老人福祉施設	18	29	22	11	14	6	14	10	13	72	18%
	23	介護老人保健施設	0	1	1	0	0	0	1	1	0	21	0%
総 計			246	344	363	338	256	227	301	280	289	4,132	7%

※指定事業所数は、令和7年4月1日時点

■ 評価方法

要介護度、ADL

■ インセンティブ区分

要介護度 \ ADL改善	5ポイント以上	1ポイント以上 4ポイント以下	0ポイント	0ポイント未満
改善	金賞	金賞	金賞	金賞
維持	金賞	銀賞	銀賞	銀賞
改善・維持以外	金賞	銀賞	銅賞	銅賞

●参加者711名のインセンティブ対象区分について

要介護度 \ ADL改善	5ポイント以上	1～4ポイント	0ポイント	0ポイント未満	合計
改善	30	36	7	16	89
	4.22%	5.06%	0.98%	2.25%	12.52%
平均を超えて維持	2	12	183	18	215
	0.28%	1.69%	25.74%	2.53%	30.24%
上記以外	8	21	232	146	407
	1.13%	2.95%	32.63%	20.53%	57.24%
合計	40	69	422	180	711
	5.63%	9.70%	59.35%	25.32%	100.00%



金賞：99人



銀賞：234人



銅賞：378人

第9期 インセンティブ区分（事業所）

●事業所延べ1,115か所のインセンティブ対象区分について

要介護度 ADL改善	5ポイント以上	1～4ポイント	0ポイント	0ポイント未満	合計
	改善	改善	改善	改善	改善
改善	89	89	12	29	219
	7.98%	7.98%	1.08%	2.60%	19.66%
平均を超えて維持	3	14	215	29	261
	0.27%	1.26%	19.28%	2.60%	23.43%
上記以外	15	41	311	268	635
	1.35%	3.68%	27.89%	24.04%	56.95%
合計	107	144	538	326	1,115
	9.61%	12.93%	48.29%	29.24%	100.00%



金賞：237
事業所



銀賞：299
事業所



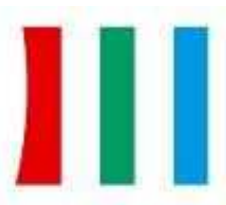
銅賞：579
事業所

第9期 要介護度の改善・維持の状況

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
要介護度が改善	34	73	96	74	21	24	52	85	89
	15.9%	14.1%	14.9%	17.5%	6.2%	9.0%	11.9%	15.4%	12.5%
要介護度を 平均維持期間 以上維持	105	248	291	182	177	155	226	228	215
	49.1%	48.1%	45.3%	43.1%	51.9%	57.8%	51.7%	41.4%	30.2%
改善・平均維持 期間以上維持 以外	75	195	256	166	143	89	159	238	407
	35.0%	37.8%	39.8%	39.3%	41.9%	33.2%	36.4%	43.2%	57.2%
合計人数	214	516	643	422	341	268	437	551	711

※第5期、第6期の改善者数の減少（過去期と比較）については、「新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱い」により、対面認定調査を回避するために従来の要介護状態区分を引き継ぎ、認定有効期間を12か月（要介護1《不安定》の場合は6か月）延長するケースが可能となったことなどによる要因と考えられます。

※第9期の「改善・平均維持期間以上維持以外」の方407名のうち270名の方は、要介護度を維持されているものの、平均維持期間以上維持に満たなかった方となります。



Colors, Future!

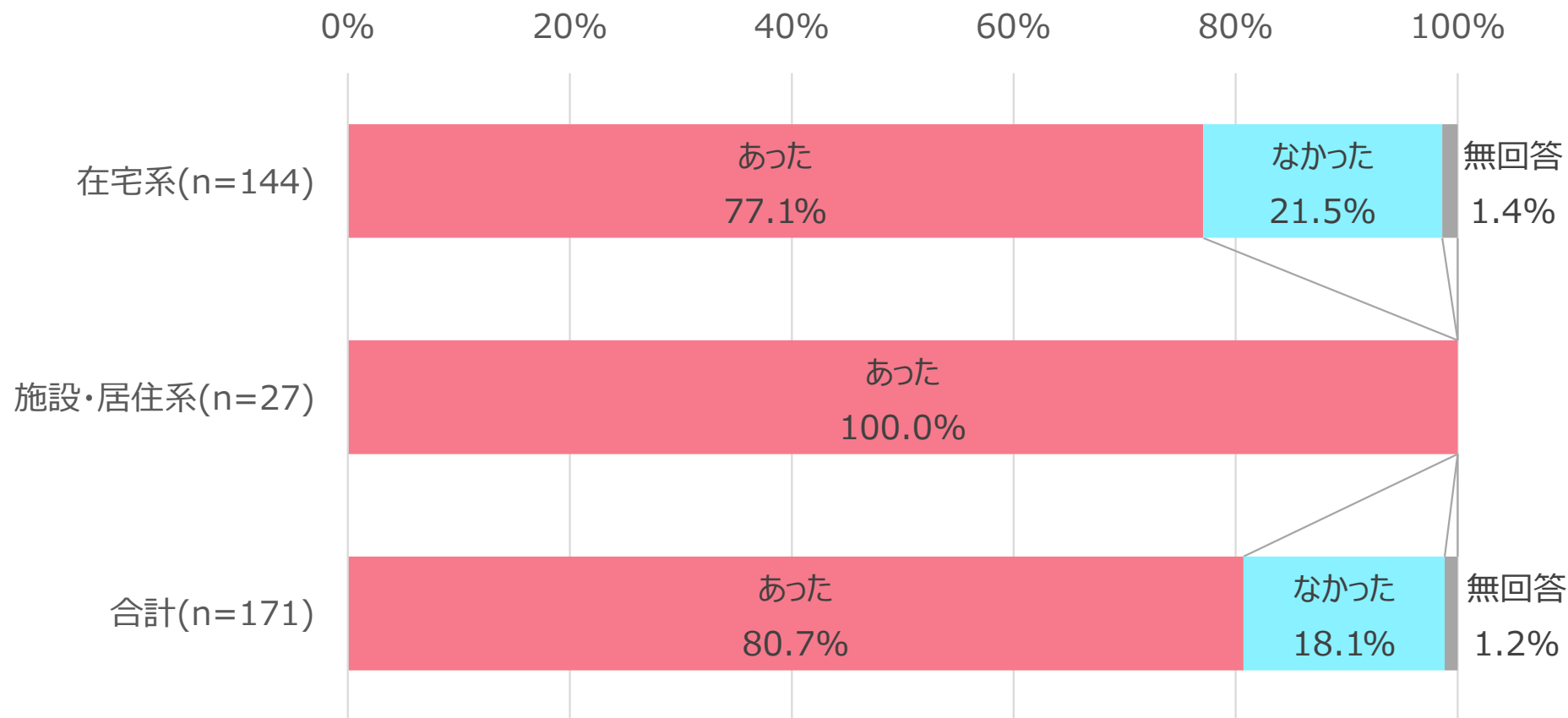
いろいろって、未来。

川崎市

効果・成果



Q 第8期取組期間を終え、**事業所の変化についてプラス面**が出ている項目はありますか。

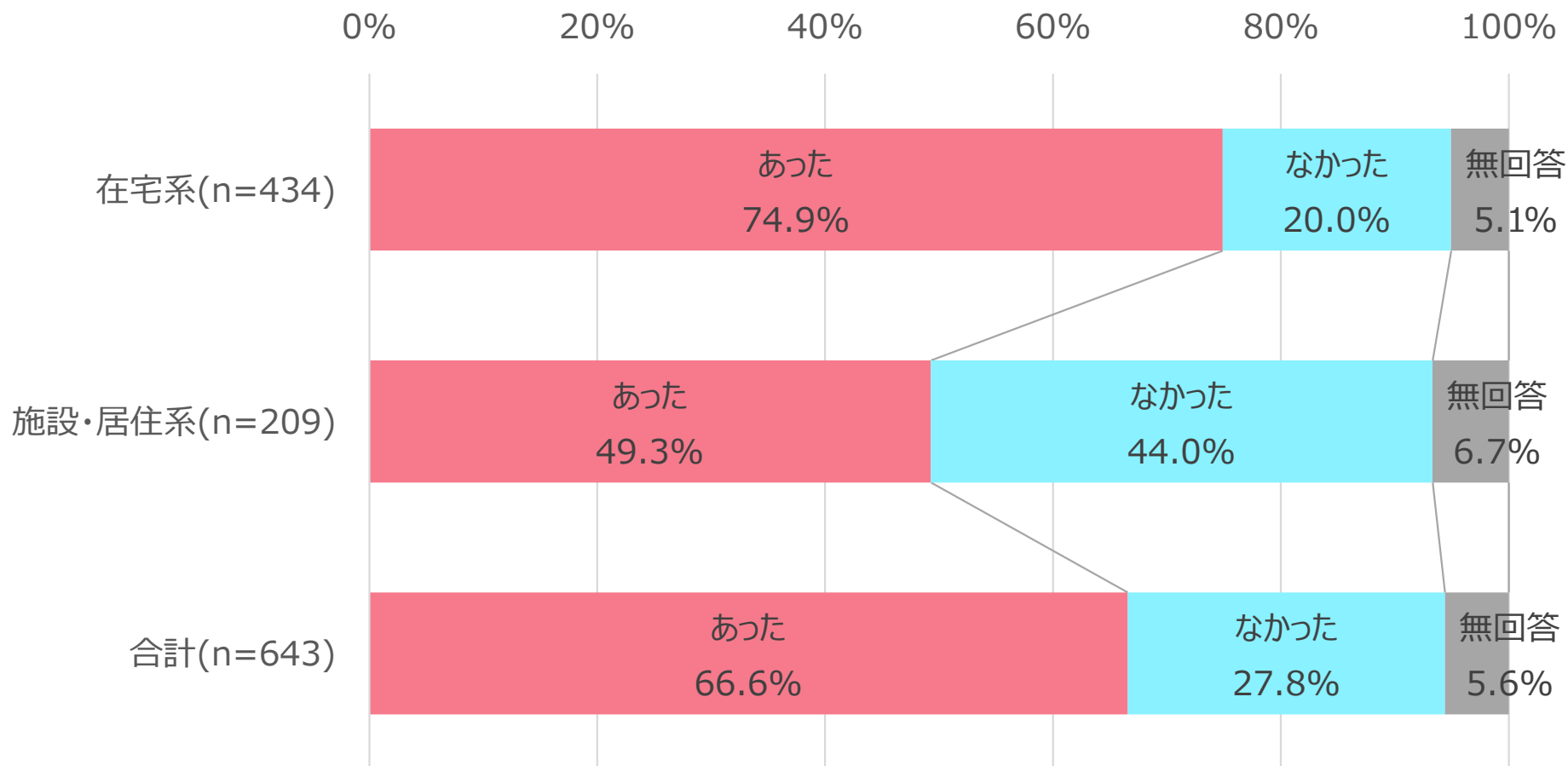


全体で8割の事業所から、プラスの効果があったと回答がありました。(第7期は88.5%、第6期は81.4%)

プラス面の変化の内容 (n=138)は、次のとおりで、これまでと概ね同様の傾向を示しました。

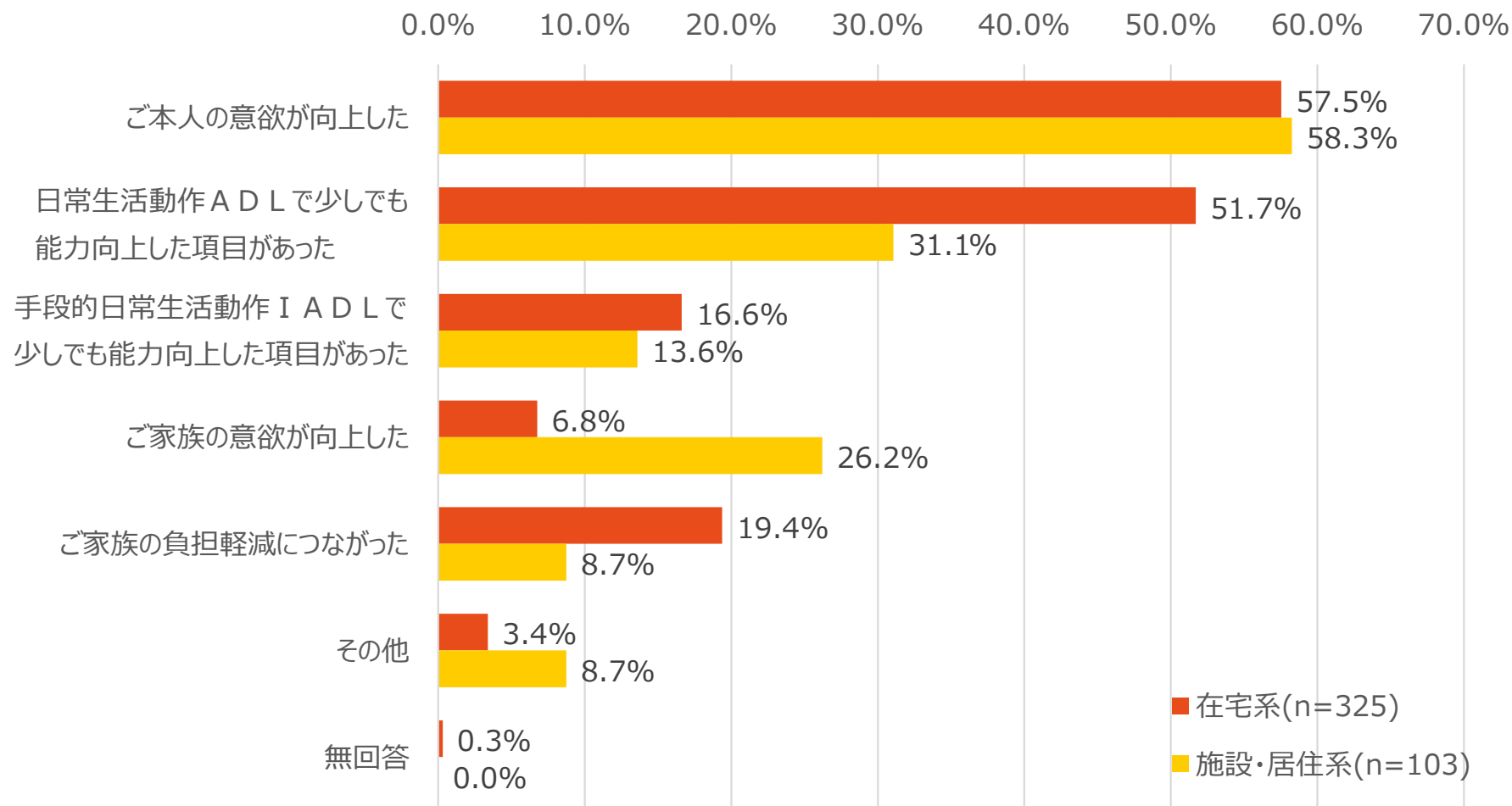
- ・「職員が改善を意識した視点を持つようになった」42.0%
- ・「職員の意欲が向上した」26.8%、
- ・「以前から改善等を意識したケアをしているので影響はなかった」30.4%

Q 取組期間を終え、**ご利用者・ご家族の変化について、プラス面**が出ている項目はありますか。



プラスの変化があった割合は、施設・居住系と比べて在宅系の方が高く、これまでの調査結果と概ね同様の傾向を示しています。（第7期調査「あった」の回答 在宅系79.8%、施設・居住系55.6%）

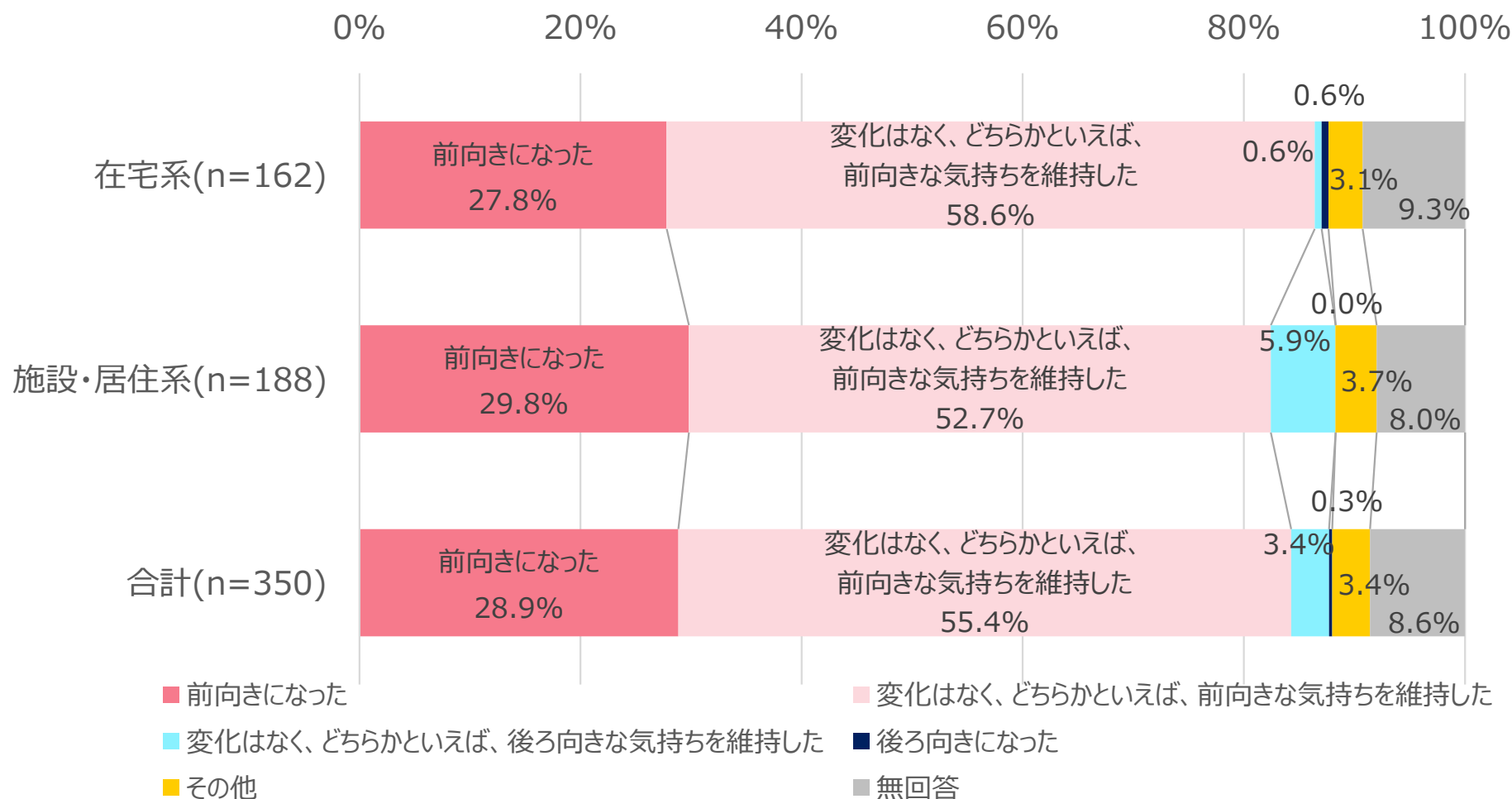
Q（プラス面が「あった」と回答した方） **どのようなプラス面**ですか。（複数回答）



これまでの調査結果と同様の傾向を示し、「ご本人の意欲の向上」の割合が高くなっています。

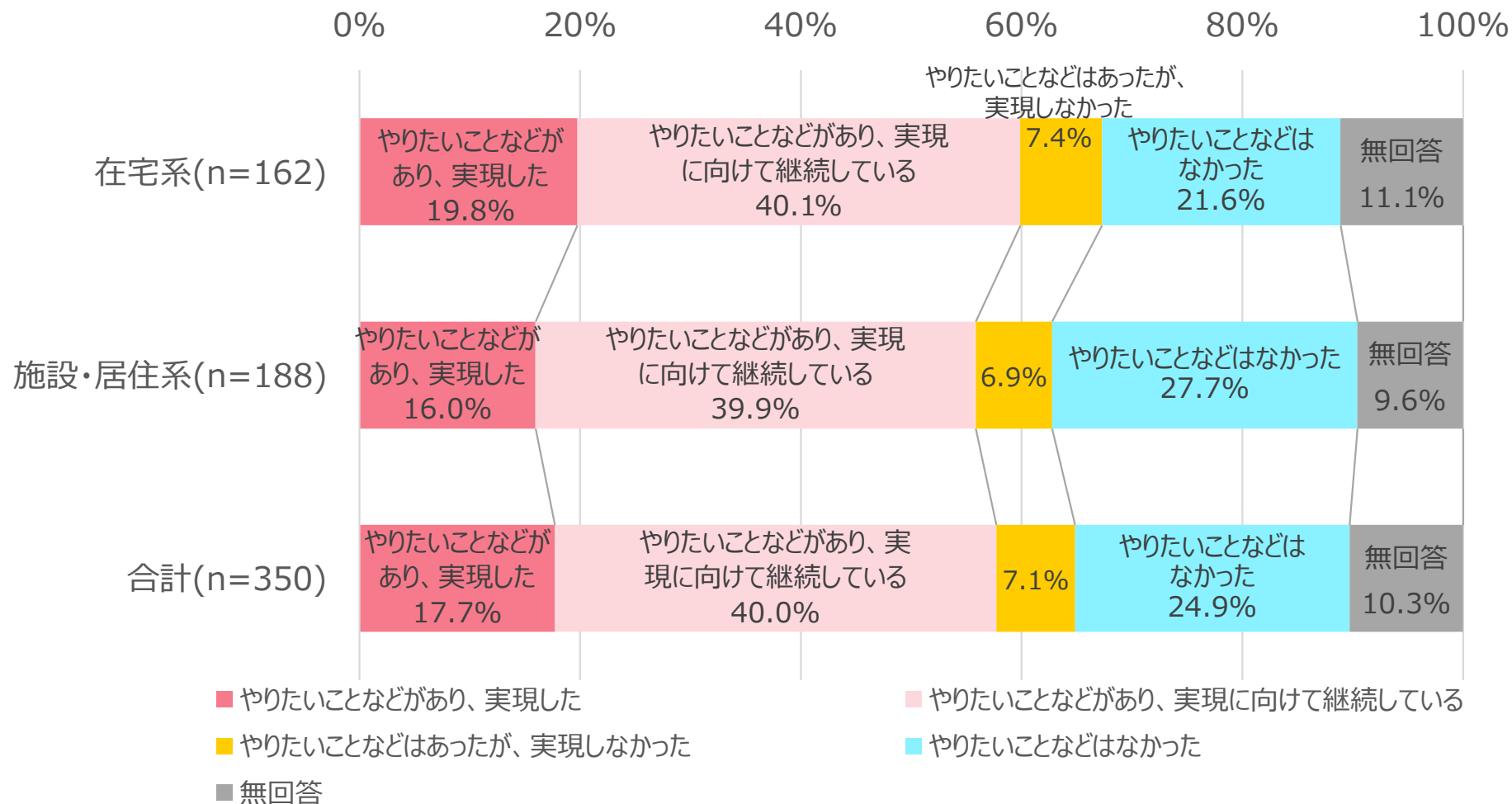
Q このプロジェクトに参加する前と比べて、**気持ちに変化**はありましたか。

(これまでの調査の「変わらない」の選択肢について、詳細を確認するため選択肢を変更)



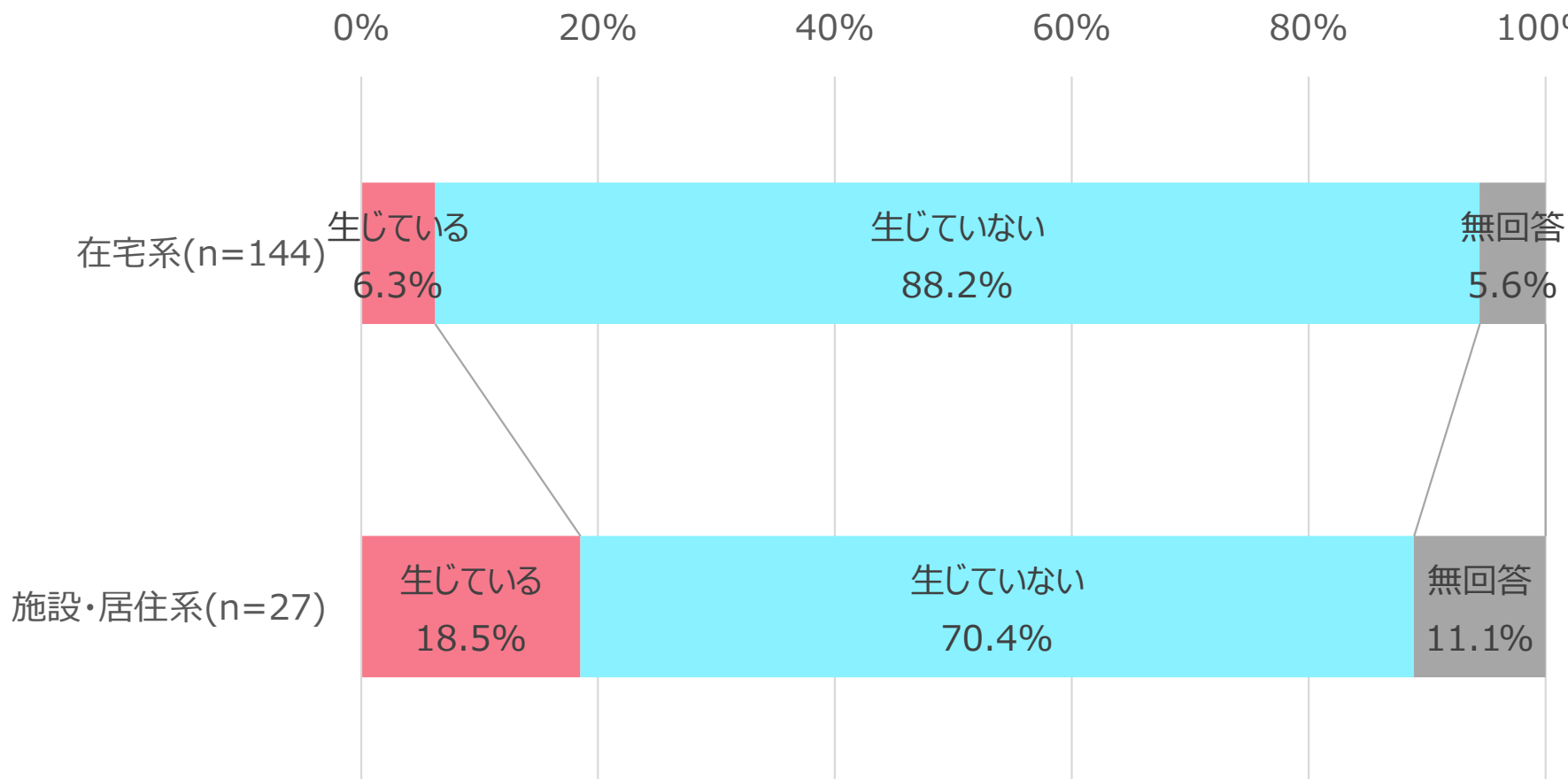
「前向きになった」「前向きな気持ちを維持した」の合計で8割を超えており、参加者の多くは、前向きな気持ちで取組期間を終えたことがわかりました。

Q 参加にあたって、実現したい「したいこと」や「やりたいこと」はありましたか。
また、それは実現されましたか。



「やりたいこと」の有無及び実現について尋ねた結果、「実現した」「継続している」を合わせて5割を超え、参加された方が前向きに取り組まれていることが改めて確認できました。

Q 本プロジェクトに参加することにおいて、業務負担は生じていますか。

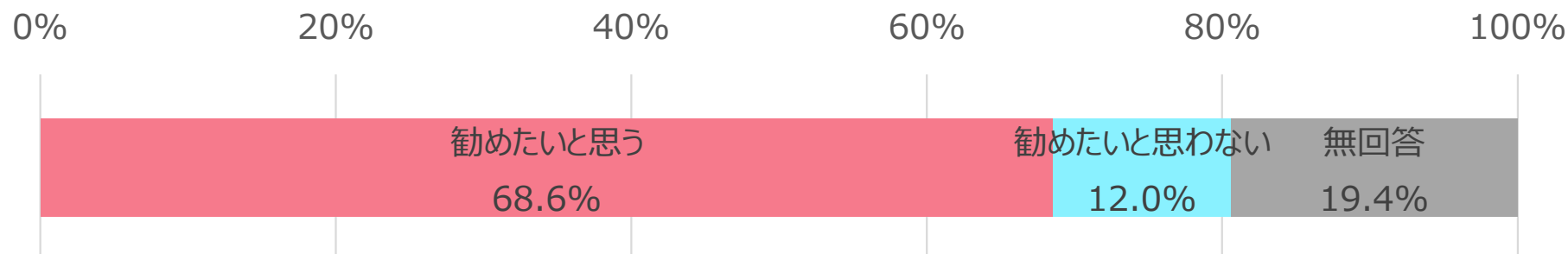


多くの事業所から「業務の負担は生じていない」と回答がありました。
負担に生じている内容についての自由記載では、「本アンケート調査」が多く、
その他に「申請事務」「各事業所への連絡」等がありました。

事業所アンケート結果

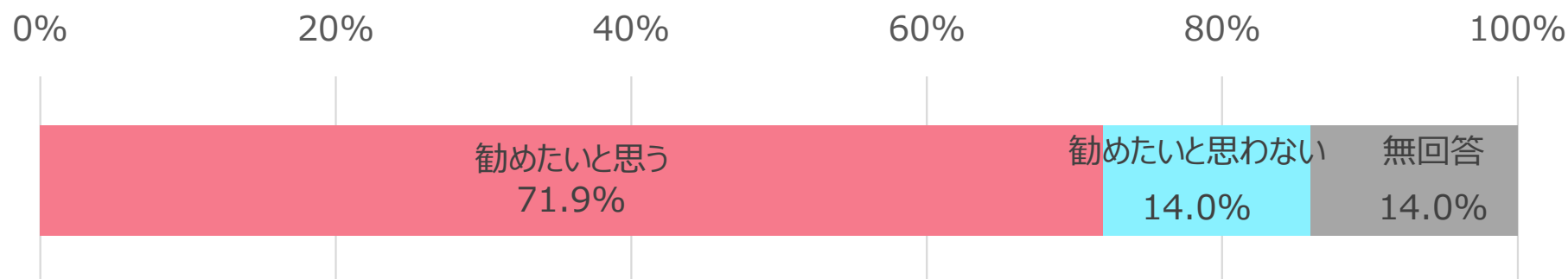
【利用者】

Q 他の「介護が必要な高齢者」や「介護が必要な方のご家族」に勧めたいと思いますか。



※「勧めたいと思う」の割合 在宅系:66.0%、施設・居住系:73.9%

【事業所】Q 参加していない事業所にも勧めたいと思いますか。



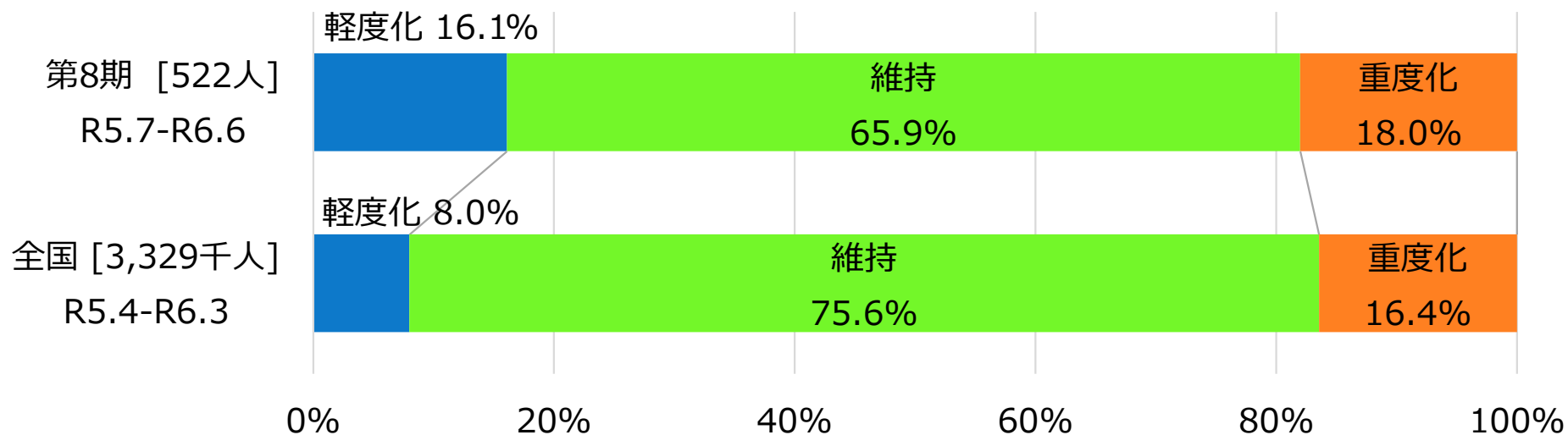
※「勧めたいと思う」の割合 在宅系:70.8% 施設・居住系:77.8%

利用者・事業所ともに「勧めたいと思う」が約7割という結果でした。

参加者からは、「賞がもらえると嬉しい」「介護職員がほめてくれるから」「負担が減る」等の意見があり、事業所からは、「よい取組だから」「意欲向上につながる」等の意見がありました。

◆国の基準における介護度の変化

■第8期との比較



第8期参加者も、全国よりも高い割合で「軽度化」していました。